



港 防災だより

No.34

2022年（令和4年）9月20日

発行人／四日市市港地区自主防災組織連絡協議会 会長 加藤 亘

『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナートに近接、住民の高齢化）これらの問題に対処していく為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

港地区自主防災組織連絡協議会



港地区
自主防災組織連絡協議会
会長 加藤 亘

今年度より会長になりました、南納屋町の加藤 亘(わたる)です。皆さまもご承知のように、港地区は高齢化と過疎化が進んでいます。特に高齢化率が四日市市で一番高い地区のため、高齢者の避難が最重要課題であり、災害時に「イザッ！避難！」の判断・行動は訓練無くしてできるものではありません。防災訓練は「リーダー養成訓練」を含めて「総合防災訓練」「グループ別訓練」と年間3回ありますが、「防災訓練」は災害時に私達の町を守る為で、一番の目的は【災害時に生きて助かる！自分の命を守る！】ことです。又、「グループ別訓練」では平常時から地元企業の方と連携を取って、避難時及び避難所運営の際には、ご支援を賜りたいものです。

【港地区一体】となつて訓練に参加して、防災力を高めましょう。

被災しても【一つしかない命】を繋げましょう。港地区の皆さま、宜しくお願い致します。

防災運営委員会



齋藤
地域マネージャー

清原顧問
自主防災組織

瀬川
相生町
防災隊長

豊田副会長
自主防災組織

長谷川
自治会長

中納屋町
藤田
防災隊長

加藤会長
自主防災組織

中納屋町
伊藤
自治会長

吉田顧問
自主防災組織

自治会長、各町自主防災隊長からそれぞれ2名と防災役員で防災運営委員会を構成しています。このほか港地区防災連携企業のグループ長企業6社で順番に担当者の方に会議へ参加していただいています。企業での防災の取り組みや、港地区の防災に対するご意見等を頂戴し、港地区の防災活動に活かしています。

各町自主防災隊長

各町防災隊長には、各町自主防災隊の代表として、毎月の自主防災隊長会議に出席していただいています。各町の防災活動はもとより、港地区の防災リーダーとなつて、防災訓練のみならず、さまざまな防災関連事業で主要な役割を果たしていただく方々です。港地区一丸となつて頑張っていくみましょう！

岩崎隊長
蔵町

瀬川隊長
相生町

三町合同
藤村隊長

横井隊長
浜町二区

堤隊長
浜町一区

橋本隊長
南納屋町

下田隊長
稲葉町

水谷隊長
北納屋町



三町合同・・・尾上町、千歳町、西末広町、合同の防災隊

連合自治会長・自治会長



松田会長
尾上町自治会

倉矢会長
稲葉町

千歳町自治会
藤村会長

大橋会長
蔵町自治会

長谷川会長
浜町二区自治会

三浦会長
相生町自治会

清原会長
連合自治会

大野会長
高砂町自治会

伊藤会長
南納屋町自治会

寺井会長
西末広町自治会

中納屋町自治会
伊藤会長

町田会長
北納屋町自治会

山内副会長
浜町一区自治会

日頃のご協力ありがとうございます。連合自治会長、各町自治会長には、毎月の自主防災隊長会議にも同席していただいています。自治会にご協力をいただき、自主防災組織と自治会がしっかりと連携し、大小さまざまな災害に備えたいと考えています。宜しくお願い致します。

コスモ石油㈱四日市製油所 防災・環境・安全への取り組みについて

タンク火災、装置火災、海上への油漏洩、津波避難、救急救命、などあらゆる状況を想定して防災訓練、安全技術講習を実施しています。



当所は地域の民家に隣接している場所に立地している事を考慮し、当所の全従業員は、「可燃物、高圧ガスを取り扱う事業所として、安全操業の維持発展が最重要課題のひとつであること」「従業員や事業活動に従事するすべての人々、及び地域住民の安全の確保を図ること」が社会的使命であることを自覚し、全ての事業活動において法令遵守のもと、安全確保に十分に配慮した行動をとり、地域社会との共生と継続的な発展に貢献することを方針として、事業継続を図っています。

地域貢献活動 ボランティア清掃



浜町一区、二区、三滝川護岸道路を中心に、従業員、関連会社、協力会社の方々の協力で1回/年実施しています。今年も6月3日に170名が参加し、草刈り・ゴミ拾いなどを行いました。

安全意識の向上 「安全意識スイッチオン活動」

2009年より、中央労働災害防止協会が推奨する「ゼロ災運動」を導入し、従業員はもとより関連会社及び協力会社従業員も含め全所一丸となって取り組んでいます。2013年12月からは、更なる運動の活性化を図るために、「安全意識スイッチオン活動」と称して3つの安全基本行動「①あいさつ②階段での手すり使用③指差し呼称による安全確認」を構内で働く人全てが、100%実行することを目標に取り組みを行なっています。また、今後も更なる向上を目指しSTEP UPして行きます！

安全意識スイッチオン活動2022

目的◆所内へ入構したら、安全に関する意識モードを上げ、良い緊張感を持って仕事を遂行する。
方針◆安全基本行動を所内へ入構する全ての人が、確実に実行する。

「安全意識のスイッチを入れる行動」

①あいさつ+ONE（笑顔、元気よく）

②階段右側通行&手すり使用

③指差し呼称での安全確認

④安全キャッチボール（部門コミュニケーション）

⑤職場5S自発的に

⑥部署(会社)*・個人安全目標設定

⑦ひやりハット4件以上/人 事例の共有で目指すはゼロ災。

☆構内一体となった活動（関係会社・協力会社）の推進

強い四日市製油所をつくる

相互啓発型安全意識を高めるため
自分はもちろん、働く仲間にも
働きかけ、安全を実現しよう!!!



4. 安全協力会社とコスモ石油で実施していく安全施策

1	今までやってきたことをしっかりとやりきる！ ・安全目標（会社&個人）、ゼロ災推進、入構者教育、TA整備、インストラクター教育等	継続は力なり
2	情報の見える化 ・YR版リスクアセスメントシートの活用 ・安全情報（労災事例・安全資料）の作成・配布	リハ・バ・ラ・フ・ル防止感性UP
3	コスモと協力会社のコミュニケーション ・協力会社コミュニケーションの継続 ・声掛け立哨とパトロール、対話等の実践 ・QRコードの活用・ゼロ災推進会で安全情報共有	コミュニケーション向上 最先端の方へのモチベーションUP

協力会社と一体となってゼロ災達成！2022年ゼロ災でいきましょう!!!

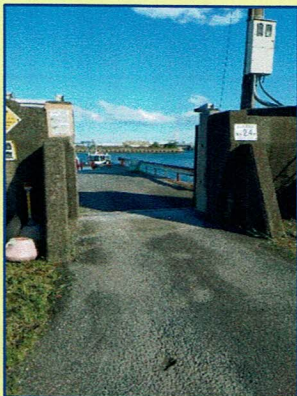
各町防災コラム (第2回)

各町の防災の取り組みなどを紹介する「各町防災コラム」です。
今号は稲葉町と浜町二区です。

稲葉町自治会

防災隊長 下田 智宏

稲葉町の防災活動への取り組みをご紹介します。
令和3年度防災訓練の反省に鑑み、各家庭のヘルメット支給状況を確認しました。
世帯主の入れ替わりや紛失など維持されていない世帯が多々あり、当時の事情により
各世帯代表者のみの支給でかつ、昭和57年製という背景もあり、世帯数全員に支給する
取り組みを検討しました。計画立案から令和4年度で全世帯に支給完結ができました。



稲葉町は、コスモ石油様と隣接する境界線(ブロック塀)があり、過去の地元防災机上訓練の際も、地震時にブロック塀は倒壊の恐れがあることを注意喚起していましたが、このたびコスモ石油様の自活動により、町内ブロック塀の撤去、更新が進み全てフェンス化を完結していただきました。稲葉町には、防災チェックポイントとして防潮扉が1か所あります。地震、津波の注意報が発令されたら、閉鎖する協定があります。過日のトンガ地震の際には駆け付けましたが、すでに閉鎖していただき、ダブルチェックの意味合いで取り越し苦労がありましたが、いい意味で防災初動確認ができました。

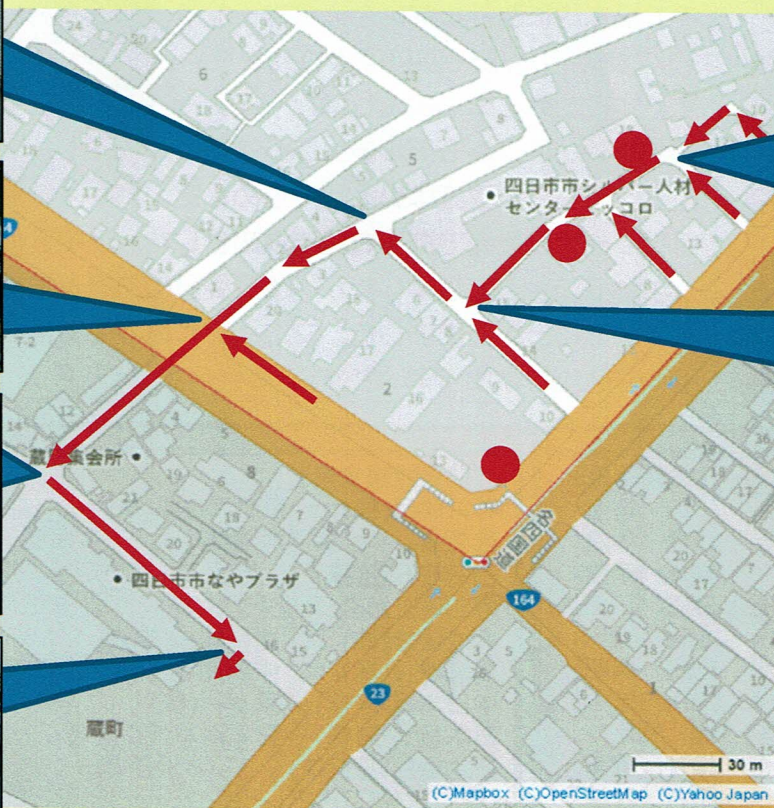


町内中央にはエチレン埋設地中管もあり、
発災時の懸案として地震対策意識醸成に取り
組みたいと考えます。これからも地域の防災の
ための一助になればと思います。

浜町二区自治会

自治会長 長谷川 雄俊

浜町二区 避難経路と消火器



避難場所: なやプラザ
← 避難経路
● 消火器設置場所

浜町二区の避難経路は図のように想定しており、消火器は各組長宅に設置されています。

■ 各種総会・会議・研修会・説明会等について

- ◇令和4年度 港地区自主防災組織連絡協議会 自治会／企業代表者総会【令和4年5月18日(水)】
- ◇コスモ石油株式会社四日市製油所定期整備説明会【令和4年6月16日(木)】
- ◇令和4年度 港地区自主防災組織連絡協議会 総会報告会【令和4年6月19日(日)】
- ◇四日市市消防団操法訓練団長査閲【令和4年7月17日(日)】
- ◇港地区と四日市港管理組合との防潮扉協定締結に関する打ち合わせ【令和4年8月15日(月)】
- ◇浜田地区主催 防災アプリを使いこなす研修会【令和4年8月20日(土)】

■ 防災運営委員会

毎月の防災運営委員会では、訓練日程・訓練内容・新型コロナウイルス感染拡大防止等、港地区の防災などを議題にして、委員と意見を出し合い、会議を進めております。

今後、港地区の現状を踏まえ、住民優先に考えて、最良の結果となるように毎月の議題内容を決めていきます。

今年度は視察研修の年にあたっています。神戸市の『人と防災未来センター』で語り部の講話を聴いたり、『神戸港震災メモリアルパーク（被災した岸壁とパネル展示）』の見学等の研修を予定しております。



■ 防災マニュアル改訂委員会

時代はめまぐるしく変わり、港地区の防災マニュアルもその都度改訂を行ってきました。今回は、先輩たちが作成していただいたマニュアルを基に、読めばわかるマニュアルから見ればわかるマニュアルを目指し改訂版を作成いたしました。当初は、数人でマニュアル改訂を始めましたが、途中で根本的に改訂しないと進まなくなり、改訂検討を15回目で一度立ち止まり、16回目から56回目はより分かりやす

くするために車で例えれば、マイナーチェンジからフルモデルチェンジすることにしました。改訂は少人数で進め、定期的に改訂委員会で批評を頂き進めました。途中、何度も挫折感を感じていつまでかかるかと心配しましたが、改訂委員の熱意と地域マネージャーの協力で、無事終わることができました。マニュアルは万能ではありませんが、防災活動に活用していただけたら幸いです。



《防災運営委員会》

加藤 亘
豊田 成彦
松田 裕文
清原 茂
吉田 泰宣
伊藤 浩助
長谷川 雄俊
藤田 日出美
瀬川 宏

《自治会長》

倉矢 隼太
大野 正司
伊藤 庸祐
伊藤 浩助
町田 光夫
大橋 洋
三浦 恭久
松田 裕文
藤村 舞
高尾 信俊
長谷川 雄俊
寺井 勝

《防災隊長》

下田 智宏
川島 孝之
橋本 幸生
藤田 日出美
水谷 哲
岩崎 義昭
瀬川 宏
堤 利臣
横井 輝重
藤村 洋平

(順不同)

《防災連携企業》

石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業所
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭和電工ガスプロダクツ(株)	住友電装(株)	第一工業製薬(株)	
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	
高砂建設(株)	中部海運(株)	中部電力ミライズ(株)	
中日本建設(株)	東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)
日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)	
(株)ニヤクコーポレーション	林興業(株)	三菱ケミカル(株)	
四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局	

(五十音順)